

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和7年5月1日現在

江戸川区立松江第五中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和8年度の目標	60.5%	61.1%
令和7年度の目標	56.4%	60.0%
令和6年度の結果	64.6%	62.2%
令和5年度の結果	48.2%	57.8%

令和6年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第2学年	60.3%	67.1%	68.9%
第1学年	60.4%	59.7%	70.5%

 ともに、生きる。 江戸川区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	◆教師の講話は最小限、生徒の「学び合い」を重視した授業への転換 ◆全教育活動で読書科との関連性を持たせた探求的な活動の充実 ◆教員間での授業交流を通じた自主研究授業の実践 ≪CD層およびB層へのアプローチ≫ ◇ラウンドシステム導入した外国語学習 ◇教科アドバイザーの活用	◆デジタルドリルの有効活用 ◆「学力向上アクションプラン」の策定 ≪CD層およびB層へのアプローチ≫ ◇放課後補習教室(EDOスク)の戦略的活動 ◇「学力向上」大戦委員会の設置 ※たちばなマインド推進委員会内に設置	◆一人1台学習用端末、デジタルドリルの日常的な活用 ◆えどダブルール等の周知・徹底 ≪CD層およびB層へのアプローチ≫ ◇「たちばなマインド」と「補習・家庭学習との関連を強化」 ◇「ミライシード」の積極的な活用
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	【支援ツール】 ☆授業支援ソフト ☆夏季休業中の研究 ☆読書科研修（初級・中級・上級） ☆教科アドバイザー	【支援ツール】 ☆放課後補習(EDOスク)担当スタッフ（数・英） ☆一人1台学習用端末のデジタルドリル ☆外国語・英語の力を高める取組 ☆えどダブルール、学校ルール等	【支援ツール】 ☆「江戸川っ子study week!」の取組 ☆デジタルドリル/東京ベーシックドリル/MEXCBTの活用 ☆家庭学習推進のための取組 ☆えどダブルール、家庭ルール等
成果指標	<input type="checkbox"/> 「自分の考えを出し合い、比べ合い、まとめるプロセスを通して、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行ってきましたか」の肯定的な回答の割合を80%以上 <input type="checkbox"/> 英語教育実施状況調査「授業者が概ね英語で行っている（75%以上の時間）」の割合100% 発話中心の英語・外国を活動100%	<input type="checkbox"/> 全国学力調査用紙 「授業の内容はよくわかりますか」の肯定的回答の割合が85%以上 <input type="checkbox"/> CD層（国・数）が50%以下	<input type="checkbox"/> 全国学力調査用紙 「ゲーム、SNS、動画視聴に関する時間」が2時間より少ない生徒の割合が55%以上 <input type="checkbox"/> 学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の回答割合が80%以上